

同時記者発表： 海上保安庁
水管理・国土保全局
港湾局

令和2年9月17日
国土交通省関東地方整備局



「オンライン東京湾大感謝祭 2020」を開催します ～海にいいこと、やさしいこと、はじめよう！～

多くの方に東京湾の魅力や恵みを楽しく体験・発見してもらい、東京湾のためにできることを考え、行動を始めるきっかけとなることを目的に、国土交通省が参画する「東京湾再生官民連携フォーラム」の活動の一環として、本年はコロナ禍という大変厳しい状況ではありますが、関係者の創意工夫により「オンライン東京湾大感謝祭2020」を開催する運びとなりました。なお、Webサイトは10月1日10時よりオープンします。

国土交通省では、美しく豊かな水環境を実現するため、環境のモニタリング、下水道整備などによる汚濁負荷削減、干潟・浅場の保全・再生や海域環境改善など様々な取り組みを進めています。また、官民の連携・協働を促進するために「東京湾再生官民連携フォーラム」（別紙1）が組織され、東京湾の再生に向けた活動の輪を広げています。

本年はコロナ禍という大変厳しい状況ではありますが、関係者の創意工夫により、東京湾の再生に向けた活動の一環となる、オンライン東京湾大感謝祭 2020 を開催する運びとなりました。今年の開催では、東京湾再生官民連携フォーラムの活動報告のほか、地球温暖化対策・COOLCHOICE トークショー「WONDER ACTION CAFE 2020」のライブ配信など、オンラインにて様々なプログラムが行われます。また、連携企画として、横浜ベイサイドマリーナで「ヨコハマフローティングヨットショー」、千葉県保田海岸で「ちよい投げ房総族」、横浜・みなとみらいぷかり桟橋で「帆船みらいへ体験航海&東京湾環境大調査」が開催されます。関東地方整備局は清掃兼油回収船べいくりの解説動画及び第二海堡ツーリズムの紹介をHP上で公開します。

＜オンライン東京湾大感謝祭 2020 の概要＞

開催期間 令和2年10月1日（土）～25日（日）（アーカイブ：令和3年9月30日迄掲載）

主催 東京湾大感謝祭実行委員会

共催 国土交通省関東地方整備局、横浜市 他

詳細はHPをご覧ください：<https://tbsaisei.com/fes/>（※令和2年10月1日オープン）

添付資料：（別紙1）東京湾再生推進会議及び東京湾再生官民連携フォーラムの概要
（別紙2）オンライン東京湾大感謝祭2020（ポスター）

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

＜オンライン東京湾大感謝祭2020に関するお問い合わせ先＞

東京湾大感謝祭実行委員会事務局 吉野

TEL：03-5805-1059, FAX:03-5805-1058

＜東京湾再生推進会議に関するお問い合わせ先＞

国土交通省関東地方整備局 港湾空港部（横浜庁舎）事業継続計画官 入澤（いりさわ）

事業継続計画官付 海洋環境係長 佐藤（さとう）

TEL：045-211-7404, FAX:045-211-0204

東京湾再生推進会議

- 都市再生プロジェクト第三次決定(平成13年12月)に基づき、東京湾の水質改善に向けて平成14年2月に関係省庁及び地方自治体により設置され、平成15年3月に「東京湾再生のための行動計画」(平成15年度～平成24年度)を策定し、総合的な取り組みを推進。
- 平成25年5月に「東京湾再生のための行動計画(第二期)」(平成25年度～平成34年度)を策定。民間も含めた多様な関係者の参画による東京湾再生の活動の輪を広げるため「東京湾再生官民連携フォーラム」の構築を明記。

(メンバー)

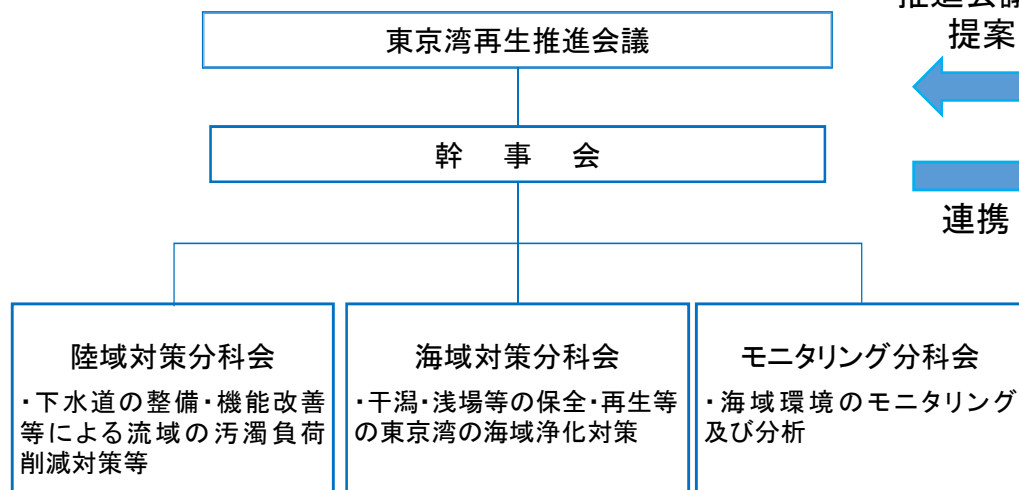
○関係省庁

内閣府地方創生推進事務局、国土交通省(水管理・国土保全局下水道部、港湾局)、海上保安庁、環境省、農林水産省、林野庁、水産庁、

○地方自治体

(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、横須賀市)

取組体制



東京湾再生官民連携フォーラム

- 東京湾再生に向け、多様な主体の参画による議論の活発化・多様化を図るため、平成25年11月に「東京湾再生官民連携フォーラム」が設立。
- フォーラムでは以下の活動を行う。
 - ・東京湾再生に係る課題や科学的知見、再生のための取り組み、ノウハウを共有し、改善方策を検討。
 - ・東京湾の魅力を発掘・創出・発信する取り組みに参画・協働。
 - ・多様な主体の交流の場を提供し、ネットワークを構築する。
 - ・「東京湾再生のための行動計画(第二期)」に基づく取り組みや東京湾再生に向けて検討又は実施すべき事項等を東京湾再生推進会議へ提案。

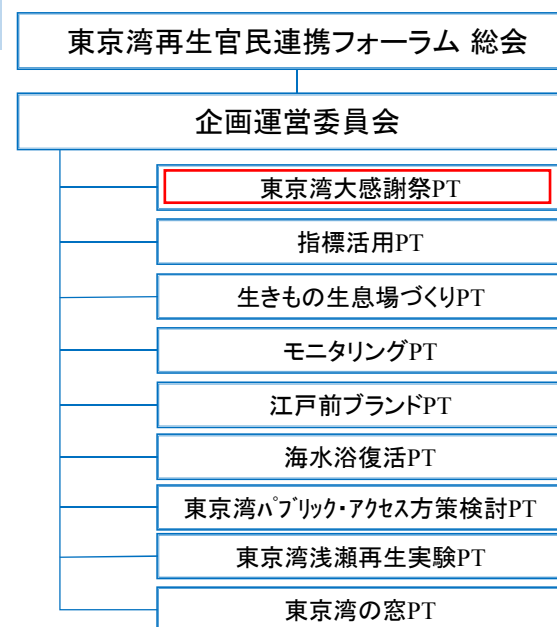
(メンバー)

○学識者、企業、NPO団体、行政関係者など

○座長 來生 新 放送大学長

○登録会員数 個人会員314名、団体会員126団体 (令和元年9月時点)

取組体制



推進会議へ
提案

連携



SDGs TOKYO BAY

別紙2

東京湾大感謝祭 オンライン 2020



海にいいこと、やさしいこと、はじめよう!

10.1 OPEN

見て! 知って! 参加もできる! 東京湾のホームページです。

東京湾大感謝祭

参加型
地球温暖化対策・COOL CHOICE トークショー
- WUNDER ACTION CAFÉ -
WEBのアンケートに答えて
オンラインLIVEに参加しよう!

WEBアンケート → 登録 → 参加

10.17 SAT

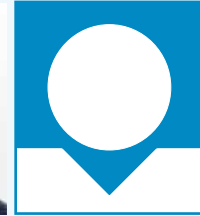
サプライズ
DAY

ライブ配信トークショー

司会: 榎 太一さん
アシスタント: 秋丸美帆さん(みっぴ)



榎 太一さん



サプライズゲスト

10.18 SUN

女子トーク
DAY

ライブ配信トークショー

司会: 藤森涼子さん
ゲスト: 秋丸美帆さん(みっぴ)



藤森涼子さん



秋丸美帆さん(みっぴ)

サプライズゲストは10月1日の
オンエアで発表するよ!

主催: 東京湾大感謝祭実行委員会 特別協力: 環境省 特別後援: (一社)セーラーズフォーザシー日本支社 メディアパートナー: FMヨコハマ
後援: 国土交通省関東地方整備局、横浜市、東京湾再生官民連携フォーラム、(一財)みなと総合研究財団、東京湾の環境をよくするために行動する会、横浜港ポート天国推進連絡協議会
後援: 東京湾再生推進会議、文部科学省、海上保安庁、水産庁、消費者庁、国土交通省関東運輸局、国土交通省国土技術政策総合研究所、(国研)海洋研究開発機構、(国研)水産研究・教育機構、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、川崎市、横浜港運協会、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(一社)横浜港振興協会、経団連自然保護協議会、(公財)日本釣振興会、(一社)日本釣用品工業会、(一社)日本マリン事業協会、(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会、日本内航海運組合総連合会、(公財)海技教育財団、(独)海技教育機構、(公社)日本水難救済会、UMI協議会、(一社)日本マリーナ・ビーチ協会、(公財)日本海事広報協会、(一社)日本旅客船協会

連携企画: 10月2日(金)~4日(日)ヨコハマフローティングヨットショー・同実行委員会 10月10日(土)ちよいなけ房総旅・東京湾フェリー(株) 10月24日(土)、25日(日)帆船みらいへ・体験航海&東京湾環境大調査・(一社)グローバル人材育成推進機構

